

「ワールドカップ」(和田)

4年に1度のサッカーNo.1を決める大会。毎日熱戦が繰り広げられていますね。僕も見ていてテンション爆上がりです。この原稿を作っているのが12月1日。この時点で日本代表は1勝1敗…グループステージ突破できるかどうかはわかっていません。あと数時間後に決勝トーナメント進出をかけた大一番。無敵艦隊スペインとの対戦が控えています。この法人通信に目を通していただいているころには…日本代表は…

世界の強豪相手にどこまで健闘できるか楽しみです。今大会はアジア勢の躍進が凄く、ジャイアントキリングも多い大会となっています。頑張れ日本代表！！でも個人的には優勝はフランスだと予想しています(笑)



知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【納めた税金が間違っていたことに気づいたら？】

今回は「誤って税金を多く納めていたり、もしくは少なく納めていたことに気がついた場合の対処方法」についてお話しします。計算間違いなどで税金が正しく納められていなかった場合には当然、訂正をすることになります。しかし「多く納めていた場合」と「少なく納めていた場合」とでは訂正の仕方が異なります。ま



ず「多く納めていた場合」は「更正の請求書」という書類に訂正事項を記載して提出します。その際の注意点は、原則として法定申告期限から5年以内に行わなければならないということです。一方で「少なく納めていた場合」は「修正申告書」を提出します。こちらも法定申告期限から5年以内ですが、悪質な行為が発覚した場合は7年以内まで延長されます。この場合、追加の税金を納めるとともに、過少申告加算税(悪質な行為の場合は、過少申告加算税に代えて重加算税)や延滞税などの附帯税を納付する必要があります。なおこの附帯税は損金(いわゆる経費)には算入することができません。

世界の偉人伝

今月の偉人：【トーマス・エジソン】

トーマス・エジソンは「発明王」として名高いアメリカの発明家です。「失敗は成功のもと」という不屈の精神で実験に没頭し、蓄音機や白熱電球の実用化など、およそ1300もの発明や技術革新を行いました。ゼネラル・エレクトリック社の設立に携わるなど、実業家としても活躍し「発明とはそれが人類にとって本当に必要なものなのかを判断する能力である」という言葉を残しています。旺盛な好奇心が高じた発明そのものが目的ではなく、あくまで人々への貢献を望む人だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【airfare】

コロナの発生から約3年が経ち、この年末年始は海外旅行を楽しむ方も多いでしょう。現在の航空運賃は、需要と供給のバランスや原油価格高騰のため、コロナ前に比べて値上がりしています。「久しぶりに年末はハワイで過ごしたかったけど、飛行機代が高くてあきらめたの」は“I wanted to spend the end of the year in Hawaii for the first time in a while, but I gave up because the airfare was expensive.”です。「飛行機代」は“airfare”の他にも“plane (airline) ticket”が使われます。



今月のピックアップ：【『地球の歩き方』東京 多摩地域】

東京 23 区外の多摩 30 市町村を網羅した『地球の歩き方』の「東京 多摩地域」に注目です。海外旅行の定番ガイドブックらしくクチコミやコラム記事が充実した内容で、初の国内版「東京」よりもハイペースで売り上げを伸ばしています。多摩住民の関心も高く、地元の書店や図書館でも人気です。苦境に立つ旅行業界でうれしい快進撃です。



オ人の言葉

行く手をふさがれたら
回り道で行けばいいのよ

アメリカの実業家であるメアリー・ケイ・アッシュの言葉。大きな壁は無理に打ち破らなくてもいい。回り道で進んだほうが新たな景色も楽しめるというものだ。

魚を焼いたり鍋を焦がしたりすると、キッチンやリビングなどに臭いがこもってなかなか消えませんね。臭いが部屋に充満しているときは、濡らしたタオルで部屋の空気をパタパタあおぎましょう。タオルについた水分が臭いを手早く吸収して、消臭に一役買います。

知得する知恵代表

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【ばら色の未来を望むなら】

過去は決して変えられない。おそらくそう思っている方が多いでしょう。ところが「記憶」は変えられるとしたらどうでしょうか。「記憶を引き出す」という言い方をするせいか、私たちは記憶を固定的な「もの」のように考えがちです。しかし実のところ、記憶は非常にあいまいなものであり「もの」ではなく脳の一種の「状態」なのだとか。ですから、思い出すときの心理状態で記憶の中身が変わることもあります。例えば、盛大に夫婦げんかをした記憶。それを気分が良いときに思い出すと、あれほど頭にきた相手の言動がそれほど気にならず、むしろ「こちらが悪かった・・・」と反省もできる。ところがイライラしながら思い出すと「やっぱり頭に来る！」と怒りが再燃。このような経験はありませんか？

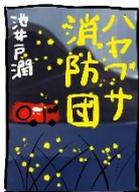


夫婦げんかという「過去の出来事」は変わりませんが、嫌な記憶を良い気分思い出すことによって「記憶的印象」をガラッと染め変えることができるのです。思い出すときの気分が記憶的印象を左右するのは、未来に対しても同じことです。将来を良い気分思い出しておけば、この先、将来を思うたびに「良い感じ」がよみがえって、ますます将来像が良い感じになっていくでしょう。逆に暗い気持ちで将来を思い描けば、先のことを考えるたびに暗い気持ちもよみがえって、明るい見通しが立たなくなります。つまりばら色の未来を望むのであれば「今」をばら色の気分で過ごし、記憶を「ばら色」に染めておく、というわけです。実際の出来事はともかく、気分はばら色で商売する。単純なことですが、これからの日本を考えると、これはやってみる価値は大いにありそうです。

トナリの本棚

【ハヤブサ消防団】

とある田舎町を舞台にした池井戸潤の小説です。東京から移住してきたミステリー作家が連続放火事件の謎を追う。ページをめくる手が止まらない一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎